

分析結果に基づく課題とその対策

◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率

生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。

①特定健康診査受診率向上事業

②特定保健指導利用率向上事業

◆高血圧性疾患

疾病別医療費において、患者数が最多であり、医療費も2位と高額である。予防啓発に力を入れたポピュレーションアプローチと特定健診において受診勧奨値だった医療未受診者に対して個別支援を実施するハイリスクアプローチの両面から支援を行う。

③高血圧症対策事業

◆糖尿病性疾患

特定健診において、HbA1cの有所見者割合が71.4%と最も多く、疾病別医療費統計において、医療費が3位と高額である。そのため、予防啓発に力を入れたポピュレーションアプローチと特定健診において受診勧奨値だった医療未受診者に対して個別支援を実施するハイリスクアプローチの両面から支援を行う。

④糖尿病対策事業

◆生活習慣病治療中断者

生活習慣病治療中断者が存在し、医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につながり重症化を予防する。

⑤生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業

◆ジェネリック医薬品の普及率

国が定める現在の目標(80%以上)に向けて、切り替え勧奨を引き続き行う。

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

◆服薬の状況

多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起きやすく、様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。

⑦服薬情報提供事業

第2期データヘルス計画実施予定事業

①特定健康診査受診率向上事業

平日夜間土日の健診事業の開催、オプション検査の導入
受診者へがん検診受診補助券の配付等

②特定保健指導利用率向上事業

健診結果手渡し方式の継続、個別案内通知、電話による利用勧奨
指導開催日毎の事前通知等

③高血圧症対策事業

「カラダみるCafe」の継続実施と市内出張
ハイリスク者への通知、相談、指導等

④糖尿病対策事業

「いわぬま健康食レシピ集」を活用した保健事業
ハイリスク者への通知、相談、指導等

⑤生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業

レセプトデータから対象者を特定し、医療機関受診勧奨通知を発送
受診がない対象者には支援の実施

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

ジェネリック医薬品差額通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す

⑦服薬情報提供事業

薬に関する正しい知識の普及・啓発



岩沼市国民健康保険 第2期データヘルス計画

概要版

計画の趣旨

保健事業の実施等に関する指針に基づき、健康・医療情報を活用して※PDCAサイクルに沿った保健事業を実施するため、「岩沼市国民健康保険第2期データヘルス計画」を策定し、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図ることを目的とします。

計画期間は、平成30年度からの6年間とします。

※PDCAサイクル…Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4段階を繰り返すことによって、事業を継続的に改善すること。

岩沼市の概況

市の人口の動きを見ると、総人口は横ばいで推移しています。

一方、高齢者人口は増加しており、特に65歳から74歳までの前期高齢者人口が増加しています。

年度	総人口 (各年度10月末現在)	前期高齢者人口 (65歳～74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)	高齢者が総人口に 占める割合
H27	44,270人	5,425人	4,854人	23.22%
H28	44,345人	5,651人	4,993人	24.00%
H29	44,286人	5,901人	4,691人	23.92%

第1期データヘルス計画（計画期間は平成28～29年度）の各事業達成状況

各事業の達成状況 ※（ ）は目標値

①特定健康診査事業

- ・特定健診受診率 47.4% (60.0%)
- ・未受診者対策検討会の実施 4回 (3回)

②特定保健指導事業

- ・特定保健指導利用率 32.3% (60.0%)
- ・メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合 33.1% (25.0%)
- ・特定保健指導利用者のうち、次年度非該当となったものの割合 11.3% (23%)

③高血圧対策事業

血圧の有所見率
男性:56.0% (47.0%)
女性:42.1% (45.0%)
血圧計の設置台数 5台 (3台)

④糖尿病対策事業

血糖値の有所見者率
男性:73.9% (71.0%)
女性:76.2% (67.0%)

岩沼市国民健康保険被保険者の推移と一人当たりの医療費の推移

国民健康保険の被保険者数は毎年減少が続いております。ただし、被保険者数は減少していますが、高齢者の割合が非常に高くなってきており、医療の高度化や高齢化に伴い、一人当たりの医療費は増加しています。

年度	被保険者数	一人当たり医療費	
		一般被保険者	退職被保険者
H27	9,575人	372,734円	430,723円
H28	9,178人	366,685円	418,056円
H29	8,863人	386,297円	387,121円

(※被保険者数は毎年度3月末時点。ただし、平成29年度は推計値)

平成30年3月発行 岩沼市健康福祉部健康増進課 問い合わせ先 0223-22-1111(代)

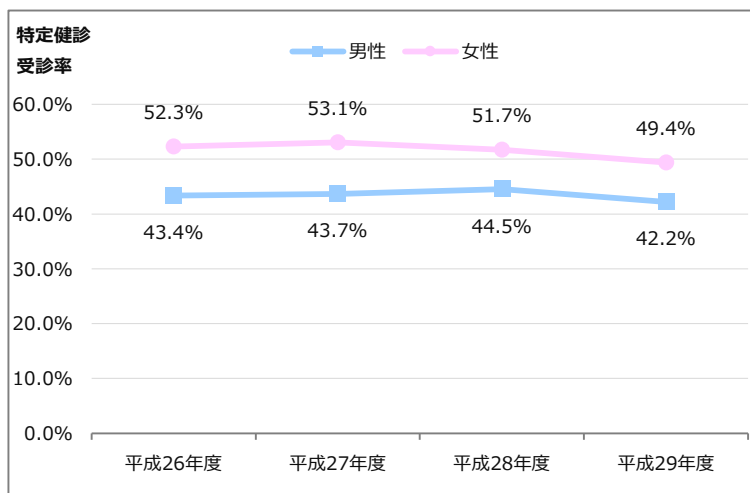
特定健康診査

平成28年度の特定健康診査受診率は48.4%と平成26年度より0.3ポイント上昇していますが、目標値の60%には達していません。また、男女別特定健康診査受診率は、平成28年度女性の51.7%に比べ、男性は44.5%と低くなっています。

有所見者割合は、HbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧が高い傾向です。

喫煙習慣では「喫煙あり」14.2%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」23.9%、生活習慣では「改善するつもりなし」24.7%となっています。

年度別・男女別 特定健康診査受診率

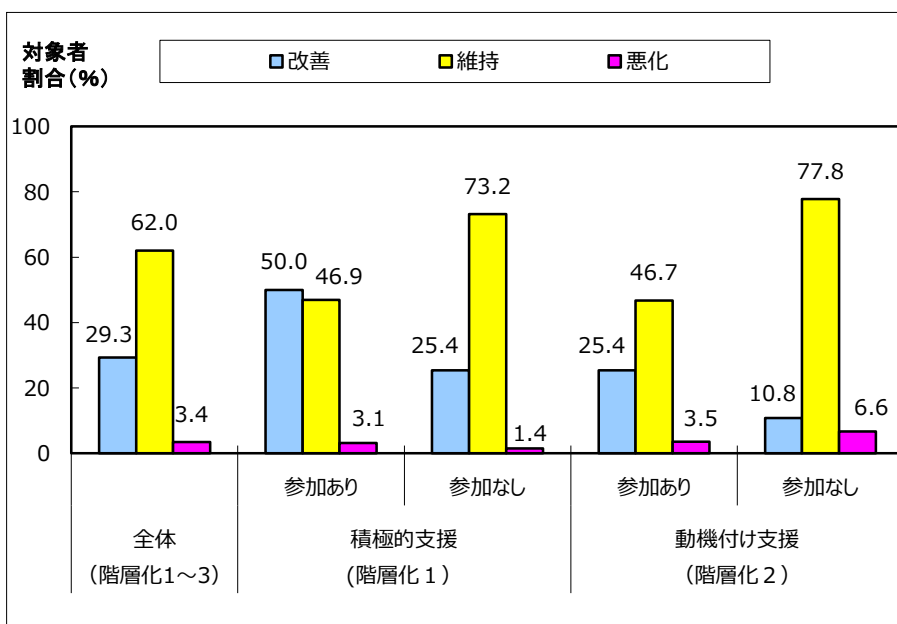


特定保健指導

特定保健指導の実施率は、平成26年度の20.5%より平成28年度は17.2ポイント増加し37.7%となりました。

また平成28年度特定保健指導参加の有無で平成29年度の検診結果を「改善」「維持」「悪化」に分けて比較したところ、参加者の方が改善率が高く、特に個別健康問題に寄り添った指導を行った積極的支援参加者のほうが改善率が高いことがわかりました。

平成28年度 特定保健指導参加の有無でみた翌年度の健診結果



中分類による疾病別医療費統計

中分類による疾病別医療費を見ると、「腎不全」「高血圧性疾患」「糖尿病」の順で医療費が高くなっています。これらはすべて「生活習慣病」といわれるものです。

また医療費上位10疾患の中に、9位の「脂質異常症」を含め生活習慣病が4つ含まれています。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾患)

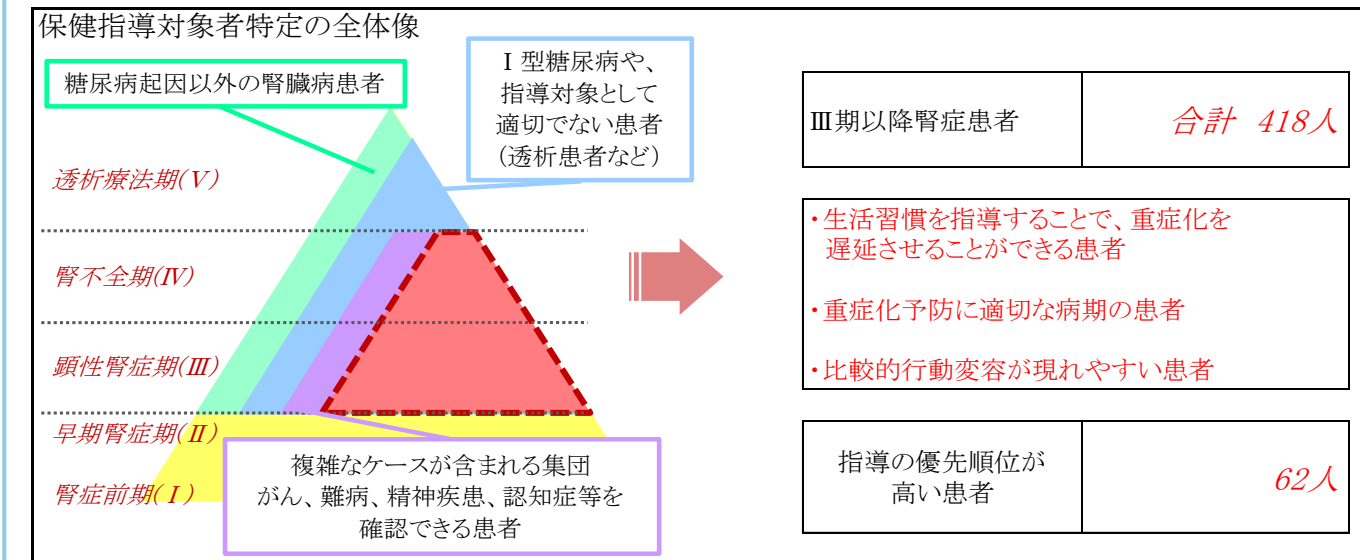
平成28年4月～平成29年3月診療分
※網掛けは生活習慣病

順位	疾病分類 (中分類)	医療費(円)
1	腎不全	222,553,889
2	高血圧性疾患	173,255,229
3	糖尿病	159,453,305
4	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	141,301,668
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	125,799,593

糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

腎症患者を抽出し分析した結果、Ⅲ期以降の腎症患者は418人でした。そのうち、**生活習慣起因**と考えられる患者を指導対象とし、その中から指導が適切でない方を除いた結果、62人が保健指導の優先順位が高い指導対象者として抽出されました。

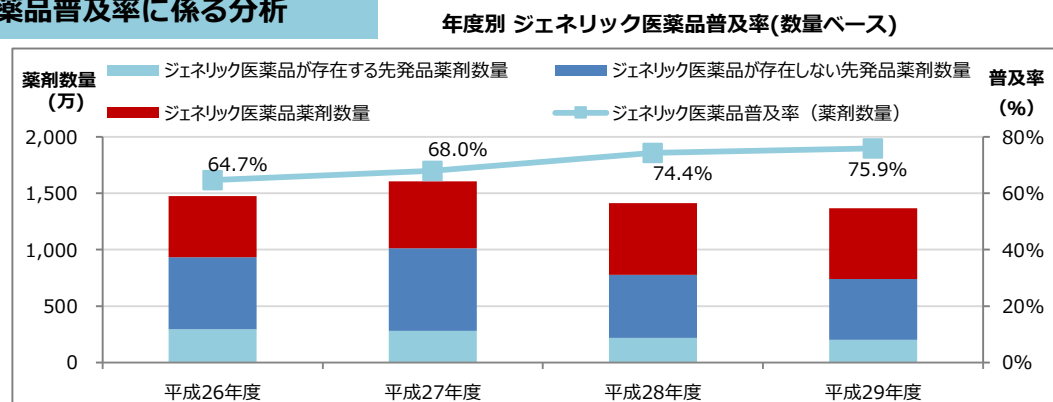
保健指導対象者特定の全体像(平成28年4月～平成29年3月診療分)



ジェネリック医薬品普及率に係る分析

平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は74.4%で、平成26年度64.7%より9.7ポイント上昇しています。

(平成29年度データは暫定値)



服薬情報に係る分析

平成28年度高額レセプトより、複数医療機関の受診があり、6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者が681人いることがわかりました。

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがあります。ふらつき・転倒による骨折をきっかけに寝たきりになる例も報告されていることから、適切な服薬を促すことが重要です。

薬剤種類別対象者数(平成28年度)

薬剤種類数	対象者数(人)					
	～39歳	40代	50代	60代	70歳以上	合計
被保険者数	2,127	991	976	3,761	2,530	10,385
1～5種類	82	33	61	490	349	1,015
6～10種類	22	34	38	244	212	550
11～20種類	5	5	14	62	43	129
21種類以上	0	0	0	1	1	2
合計	109	72	113	797	605	1,696



岩沼市
マスコットキャラクター
「岩沼係長」

長期多剤服薬者数 681人